

茨城県県北農林事務所
常陸大宮地域農業改良普及センター

〒319-2255 茨城県常陸大宮市野中町 3083-2
(常陸大宮合同庁舎内)
TEL. 0295-53-0116 FAX. 0295-53-1077
(大子駐在) 〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤 6690-1
TEL. 0295-74-0461 FAX. 0295-74-0769
e-mail f-oomiya@agri.pref.ibaraki.jp

普及センターだより

集落営農を
進めまじよう!

平成二七年八月二七日、当普及センターでは、集落営農組織化や法人化の推進を目的に、常陸大宮市山方の農林漁家高齢者センターにおいて「これからの集落営農」研修会を実施しました。当日は、集落営農等に係る農業者や関係者約五〇名が参加しました。

研修会では、桜川市の農事組合法人「アグリピア松田」代表の中村統一氏より、桜川市松田地区での集落営農の取り組みについて講演をいただきました。

中村氏は、集落内の共同作業「結い」の復活を目指し、集落営農組織を立ち上げ、さらに一部を法人化してコンバインなど大型農業機械の共同購入や利用を進めてきました。この取り組みにより、個々の農家が高価な農業機械を導入していた以前よりコスト削減が図られました。現在は、営農組合が集落内のほとんどの水田や畑の作業を請け負うとともに、畦畔除草の共同作業や直売活動も行い、集落内の収入向上に努めています。

中村氏の講演の中で、「集落営農で必要なことは、他力本願でなく自分た

ちの農地は自分たちで守るという意志であり、組織を継続させるためには、そこで暮らす人たちにとって利益・楽しみにつながるような運営の工夫が必要である。」と、これからの集落営農の指針ともなる意見を伺うことが出来ました。



常陸大宮地域「これからの集落営農」研修会

現地事例紹介 「農事組合法人塩田の設立」

常陸大宮市塩田地区では、担い手の高齢化により水田等の維持管理に危惧を抱いていました。塩田地区には前身となる塩田受託生産組合があり、そばや水稻苗の受託をしてきました。今後さらに受託が増えることが予想され、組合長らは、農地の貸借、経営所得安

定対策への加入など、任意組合組織での運営に限界を感じていました。平成二六年秋頃から、役員を中心に話し合いが進められました。塩田の農地を守るために、耕作放棄地の受け皿となり、将来も継続して組織運営できるよう、平成二七年三月、農事組合法人塩田を設立しました。

法人設立後、塩田地区では「農地中間管理機構」を活用して約六haの農地を集積しました。また、そのメリットとして、地域では農地集積協力金の給付を受けることになりました。

今後の展開として、さらなる農地集積による水稻、そばの作付拡大や、特産品の開発などの事業展開を目指しています。



農事組合法人塩田のみなさん

水田で問題となっている雑草対策

【雑草イネ対策】

雑草化したイネで、穂を触ると籾が落ちやすいのが特徴です。玄米の中に赤米が混じり、等級を落とす原因となります。

- ① 田植えを遅らせる
② 効果の高い除草剤の使用
代かき後できるだけ早く田植えを行い、効果の高い除草剤を体系処理します。

③ 手取り除草

手取り除草を行わないと雑草イネを完全に防ぐことはできません。出穂が近付いてきたら定期的に水田を見に行き、見た目が異なる株を抜き取り、抜き取った株は水田内や畦畔に放置せず、必ず持ち出します。

④ 秋起こしをしない

【クログワイ、オモダカ対策】

特にクログワイは塊茎の寿命が最大五年と長いので、次の対策を三〜四年間続けます。

- ① 除草剤の体系処理
② 収穫後早めの耕起
③ 刈跡への除草剤使用

発生が多い場合は収穫後②を行わず、雑草の草丈をできるだけ伸ばしてから浸透移行性除草剤を処理しま



水田畦畔の除草対策グランドカバー

グランドカバーとは、芝(センチピードグラス)などで畦畔を覆い雑草を抑える技術です。一度覆えば十年程度持続し、草刈り回数を年二回程度に減らすことができます。

【畦畔を覆うまでの作業手順】

- ① 畦畔除草剤の散布・定植一か月前及び二週間前に非選択性除草剤を散布します。定植前に雑草を枯らしておくことがポイントです。
② 定植・芝(センチピードグラス)の場合、梅雨の頃にセル苗を約二十センチ間隔に植えます。

- ③ 定植後の管理・植付後に生えてきた雑草は刈払い機等で除草します。雨が少なく土壌が乾燥する場合、活着まで水やりをします。

※農薬の商品名など、詳細は普及センターまでお問い合わせください。

飼料用米ソフトグレインサイレーズの調製・給与

【飼料用米ソフトグレインサイレーズ(以下飼料用米SGS)とは】

収穫した飼料用米(籾米)を乾燥せずに密封保存して、サイレーズ化したものです。サイレーズ調製をする前に、飼料用米を粉砕や圧パン処理を行うことで、消化率と発酵品質の向上が期待できます。また、飼料用米の収穫適期は、黄熟期とされていますが、明確な定義はありません。黄熟期収穫の籾米は、水分含量が三〇%程度、完熟期だと二五%以下のものが多く、サイレーズ調製するためには水分含量が低いので、加水処理や乳酸菌等を添加することで良質な発酵を促進させます。

【原材料の飼料用米の処理について】

処理方法には、大きく分けて「粉砕(破砕)」と「蒸気圧パン」の二つがあります。粉砕には、粉砕機や破砕機を使い、蒸気圧パンには粉砕圧縮膨潤化装置(プレスパンダー)が必要です。

【サイレーズ調製について】

- ① 原材料の飼料用米の粒度・目標は二ミ以下。
② 加水処理・サイレーズ調製後の水分三五%程度
③ 乳酸菌の添加・発酵品質を改善する



ソフトグレインサイレーズの調製風景

ために「番草一号プラス」などのホモ型乳酸菌を添加します。
④ 密封・掃除機等で脱気し、ヒモや結束バンドで内袋を密封します。最近では、脱酸素剤とカビ防止剤が販売されており、これらを添加することにより掃除機での脱気を省略できます。

【大子町での取り組み】

大子町では、平成二六年度から和牛繁殖牛への給与を目的に、小規模(三〇リットル樽〜二〇〇リットラム缶サイロ)での調製・給与試験を実施しています。小規模でも粉砕籾米に加水処理による水分調整と乳酸菌添加で良質なサイレーズができました。牛の嗜好性も良好で疾病の発生もありませんでした。

果樹類の発生予防策によるカメムシ類防除対策

果実を加害する主なカメムシ類は、チャバネアオカメムシ・クサギカメムシで、冬季は、落ち葉の下や家屋の隙間などで成虫で越冬します。越冬量が多く、夏までに主要な餌(スギヤヒノキの球果)が不足すると、果樹園に飛来して、リンゴ・モモ・ウメ・カキ等の果実を吸汁加害します。飛来害虫であることや発生量の年次変動が大きいこと、防除の困難な害虫です。

図はJA常陸大子町りんご部会で行っているチャバネアオカメムシの発生消長調査結果です。平成二六年は越冬量も多く、夏季七〜八月の誘殺数が急増した年でした。一方で、平成二七年は前年からの越冬量が少なく夏季の誘殺数もわずかでした。

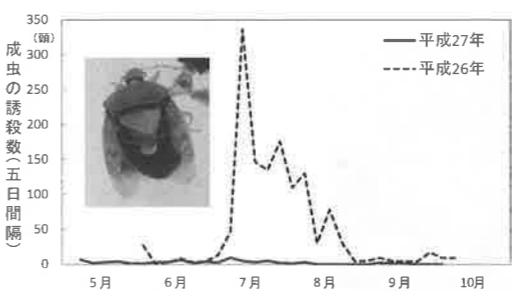


図 チャバネアオカメムシの発生消長(大子町、フェロモントラップ)

今後、カメムシ類の発生には充分注意し、防除間隔を空け過ぎない、忌避効果の高い登録農薬を選択する、などの被害軽減対策を行って下さい。

集落営農組織の法人化のメリット

【集落営農組織の場合】

集落営農組織の法人化により、次のようなメリットがあり、農村地域の維持・活性化が期待できます。

- ① 農地 法人名義で農地を借りることができ、農地の集積がしやすくなります。
② 機械・施設 機械等の資産を保有できるようになります。法人所有の機械を共同利用することでコスト削減が図れます。また、準備資金を積み立てることができ、準備期間が短縮されます。
③ 対外信用力 対外信用力が増し、販売力が強化され、地域特産品や加工品の販売など新たな事業展開が有利にできます。
④ 人材確保 集落内外からの有望な人材が、現在の集落担い手から引き継ぎ、将来に渡って農村集落を守ることができ、人材確保がしやすくなります。

個人経営の場合

特に、対外信用力の向上と人材確保が大きなメリットです。後継者が就農しやすい職場環境を整えることができます。また、人の雇用もしやすくなります。その結果、規模拡大、販路拡大、新たな事業展開へとつながります。

直売所へ切花を出荷しましょう

切花は直売所の売上げ上位を占める重要な品目です。今回は初心者でも取り組みやすい、お盆出荷向け露地栽培花きを紹介いたします。

【アスター】

主な品種は「あずみシリーズ」、「松本シリーズ」です。播種期は三月下旬〜四月上旬です。育苗場所はハウス内とし、二八穴または二〇〇穴のプラグトレイに播種します。発芽適温は二〇℃前後です。定植期は四月下旬から五月上旬です。黒マルチを張り株間一五センチ、条間一五センチの六条植え(中一条あけ)で定植します。定植前に倒伏防止のためにフラワーネットを張り、頂花蕾が確認できたら摘心して、分枝の発生を促します。花が三〜四輪程度色づいたら収穫適期です。

【ケイトウ】

主な品種は、とさか系は「久留米」、「ボンベイ」、羽毛系は「八千代」です。播種時期は五月上旬頃で、条間一五センチ条播きし、最終的に株間一五センチに間引きます。摘心を行い三〜四本に仕立てます。草丈が伸びてきたら、倒伏防止のためのフラワーネットを張り、完全に開花し、茎が固くなったら収穫適期です。

「奥久慈なす」をつくってみませんか

「奥久慈なす」は、県銘柄推進産地に指定されており、現在、常陸大宮市、大子町を含む久慈川沿岸の四市町で生産されています。統一した栽培・出荷基準により、高品質のなすを京浜市場へ出荷しています。栽培期間は五〜一〇月、収穫期間は六〜一〇月と長いので、露地栽培でも安定した収入が得られます(表1・2)。定年帰農やUターン就農の新規栽培者も増えており、また水田転作野菜としても有望です。栽培技術については、初心者の方でも取り組みやすいようJAや普及センターが支援します。

次作の栽培者の募集期間は、二月上旬までです。それ以降も随時募集しています。

詳しくは

JA及び普及センターまでお問い合わせください。

表1 経営の目標

Table with 3 columns: 販売金額 (75万円), 経費 (35万円), 所得 (40万円). Includes example of 5a production and 300 plants, 3t yield.

表2 露地ナスの作型

Table showing planting (△) and harvest (■) periods for open-field eggplants from May to November.

常陸大宮市三美地区における野菜生産拡大に向けた取り組み

平成二七年度より、常陸大宮市三美地区において、畑地帯総合整備事業を契機として、JA出資法人の「有限会社みどりサポート」等が野菜部門の経営を開始しました。

初年度は、畑地整備されたほ場でネギ一・五ha、加工用カンショ一haを作付し、出荷されています。

当地区は、農業の担い手不足を解消するために、畑地の区画整理や排水改良の整備を行い、関係機関と連携して、新たな担い手へ農地を集積する活動に取り組んできました。大区画化されたほ場では、大型機械の利用も可能となり、作業効率も良くなりました。今後、「みどりサポート」や地域の担い手が、地区内の畑地を借り受け、ネギ等の野菜の作付けが拡大される予定で、新たな野菜産地として注目されています。



常陸大宮市三美地区ネギほ場

大子町に二組の新規参入者が就農

和牛繁殖経営

高倉崇彰・梓夫妻は、茨城県外の非農家出身です。県北農林事務所等で主催している平成二六年度新規繁殖和牛経営入門講座で知り合い、和牛が好きで経営したいという共通の目的と、大子町の自然、農家の人達の人情に好感を寄せ、農業法人での研修等を経て結婚・就農しました。平成二七年四月から和牛繁殖経営に取り組んでいます。



高倉夫妻(和牛繁殖)

酪農経営

菊池貴洋さんは、近くで酪農経営をやめる人がいることを聞き、酪農経営を志しました。酪農はもとより農業は未経験のため、まず一年間の酪農関係の学校教育を受け、二年目に先進農家研修を経て就農しました。元経営者から、乳牛、施設、機械、土地等購入又は借受けて平成二七年一月から経営を始めています。



菊池貴洋氏(酪農)

チャトゲコナジラミの発生に注意!

大子町をはじめ県内各地の茶ほ場において、新害虫「チャトゲコナジラミ」の侵入が確認されています。新芽の先端や、すそ部古葉の葉裏の成虫・幼虫の発生状況を確認し、「すす症状」が発生している場合は、すでに密度が高くなっている可能性があります(写真)。

対策として、春・秋期はチャトゲコナジラミの発生消長を確認しながら、登録のある農薬によるローテーション防除を実施してください。冬期は、マシン油乳剤(商品名「トモノールS」)による防除を行います。一・二月頃にかけて、二回散布を行うと防除効果が高くなります。農薬散布時には、四〇〇cc/一〇aの薬液を用意し、主に幼虫が固着している古葉の葉裏に薬液がしっかりと付着するように、ていねいに散布してください。また、多発している場合は、一番茶後のせん枝処理(深刈り等)を検討してください。



チャの成虫の新芽群生状況(写真及び情報提供山間地帯特産指導所)

農業三士の紹介(新任・退任)

茨城県では、地域農業の振興のためにご活躍いただく優れた農業者や、将来地域農業の担い手となる農業者を農業三士(農業経営士・女性農業士・青年農業士)として県知事が認定しています。

平成二七年度は、管内から青年農業士一名が認定され、農業経営士一名が退任されました。

【青年農業士 新任 大貫 寛一氏】

大貫氏は、ハウス及び露地によるナスの周年栽培に取り組みながら常陸大宮5日クラブの会長等を歴任しており、今後とも地域内外の青年リーダーとしての活躍が期待されることから、この度、青年農業士として認定を受けました。



青年農業士 大貫 寛一氏

【農業経営士 退任 堀江 甫氏】

堀江氏は、平成一二年に農業経営士の認定を受けてから一五年間にわたりご活躍いただき、この度退任となりました。今後も、シイタケ・カンショ栽培・干し芋加工・販売など益々のご発展を期待いたします。